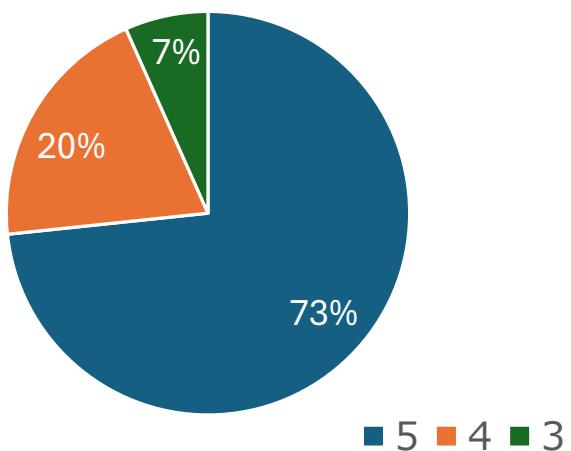
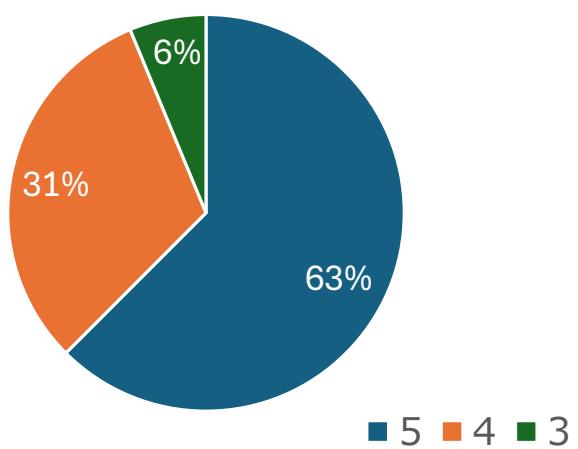


2025年10月31日 第三回応化会 大分・延岡地区交流会 参加アンケート

今後も交流会に参加したいと思いますか？(5段階評価)
参加したくない(1) ☆ ☆ ☆ ☆ ぜひ参加したい(5)



今回の交流会の全体的な満足度を教えてください(5段階評価)。
満足していない(1) ☆ ☆ ☆ ☆ 非常に満足している(5)



参加した感想

工場見学ができず悔しい
中戸先生から戴いたアカデミックなお話や平田先生から戴いた興味を惹かれるお話は普段の業務とはまた違った知的好奇心を刺激されました。
各社の取り組みについて詳しくうかがえたところが特に興味を持ちました。
延岡は旭化成さんとの付き合いが無いとなかなか行かない所、行ってみて企業の町作りの苦労や成果が分かりました。感謝しています。旭化成の工場がいくつも分かれて存在していること、川と水力発電の関係等も勉強になりました。夜の食事も美味しかったです。室園君の昔ながらのパワーに嬉しくなりました。また北九州大の中戸先生の参加も嬉しく思いました。講演で話に出てきた本はその場で買って、今読んでおります。
田中さんはじめ幹事会社(旭化成株)様の企画、行動力で今回も大変すばらしい交流会だったと思います。ありがとうございました。
旭化成さんの企業・製品紹介VTRやブースが非常に印象に残りました。同門の先輩・後輩が色々な場所・仕事で活躍されていることを身近でお聞きすることができ、毎度非常に刺激になっております。
大学の先生の話がいつも面白いです。
初参加だったので、他社の知り合いが増えた点はよかったです。
アカデミックな講演を聞く機会は少ないので興味深かったです。
また、同業他社の同年代の方々の仕事ぶりを知ることができよい刺激をうけました。
いわゆる一流化学系企業の工場勤務の技術者という、参加者の均質性が高い交流会であったこと。
各社の近況を聞けたり、飲み会に参加できて楽しかったです
旭化成さんの改善の取り組みで「ジャンプ力を上げる活動、ハードルを下げる活動」という言葉が、我々も改善活動をやっている中、印象に残った。中戸さんの体感と接続した理解(記号接地)も印象に残った。
多くの方のお力添え賜り、無事に会を開催出来たことに安堵しています。化学業界に属する身として他社の工場見学を行ないたいモチベは高い一方で、いざ自社で実現となるとかなり障壁が高く、実現できなかった際に参加者の満足度をどのように担保・維持すべきかは課題として挙げられるかなと感じます。
応化会ではない人も気楽に交流できる会だと感じた
前回よりも参加者が増えた印象があり良かったと思う"
大学教授の講義を聴けるのは刺激になってとてもよかったです
様々の人とのつながりができるよかったです。来年はゴルフも参加したい。

今後取り入れてほしい企画や改善点に関する意見

1つのテーマについてディスカッションしたりするのも面白いかと思いました。 例「後輩の育成方法」「高いモチベーションを維持するには」など"
引き続き会社紹介・見学を開催していただきたいです。紹介内容だけでなく、紹介するポイント選びなどとても勉強になります。
引き続き会社紹介・見学を開催していただきたいです。紹介内容だけでなく、紹介するポイント選びなどとても勉強になります。
工場の見学や、見学コースは是非入れてほしいです。
ゴルフ場はもう少し易しいところにしてください (笑)
ゴルフをしない参加者ができる他の企画は？他のスポーツ、ゲーム、野外活動等々（具体的には思い浮かばなくて申し訳ありません）
旭化成様のご事情も理解していますが、出来れば何とか現場見学が出来ればと思います。 また、延岡地区にいらっしゃる早大OBの方々（特に年配の方）にもっとお声がけできる方法は？難しいでしょうが、 ・中堅以上の方からのキャリア紹介 ・現役学生の参加（予算面で非常にハードル高そうですね。せいぜい部分負担でしょうか。）
この活動が応化会の学生へのPRに役立っているのか気になります。
各社新入社員が増えるとはいえ、毎回同じ企業、同じ講演者だと回数を重ねるとマンネリ化していくと思う（参加意欲が下がる）。費用の問題はあるかもしれないが、応化出身に限らず九州地区の化学者や、九州外の応化関係化学者を外部講師として呼べたら参加する意義もあると感じた。
会の主目的が内向きなのか外向きなのか（地域内の交流？九州支部のアウトリー）が分からなかったためどのようなスタンスで参加するべきなのかがいまいちつかめなかった。そのため準備段階でフワフワしてしまい、やる気が出ない
"仲良くなる"ということが目的でよければ、チーム戦でのゲームなど？
会社説明なしで自己紹介のみでもよい気がしました。
この会の一番の意義としては、応化という繋がりを使った大分延岡地区での人脈形成やその深化だと思います。そういう意味ではこれまでのような形の会でも良いのかなと思いますが、一方で各社実力のある若手、中堅、トップが揃う機会もなかなかないので、何か各社の営利活動（業務、採用、地域貢献等）と結びつけられないかなとも考えたりします。 (すみませんが、具体的なアイディアまでは無いのですが、ほんやりと抱いている期待です)

"応化という共通点を通じて近隣各社で強い結びつきが出来つつあると思います。グループディスカッションの時にも出た意見ですが、交流会の目的を拡張し、この会 자체を何かしらの方法でリクルート活動に結びつけられないかと思いました。ただ各社の負担は増える方向ですので、これは継続的に続けることは難しいのかなとも思っています。

他の地域でもこのような応化の集まりがあるなら参考にさせて欲しいですね。

応化会の活動の一環でもあると理解していますが、例えば別の地域の応化会や学生さん等からの反響（？）がないか聞いてみたいです。（各社の発表だけでなく応化交流委員会の近況みたいな？）

時間配分にもよりますが、プラント見学ができるとよい。

3回行って、参加者、内容が盛りだくさんになってきていること、継続参加者も一定数いることから、各社の全体的な概要説明は少なくて、各人の取り組みトピックスを増やしていくのはどうでしょうか

学生を交えた企画や九州地方での働き方紹介等の機会提供に繋げるとすると、より世代間交流の側面や会の意義が高まると感じます。

従来のプログラム内容を踏襲せず、要望に応じてアジャイルに調整していくと良いかなと思います。

- ・講演のボリュームに対して時間が足りない？（平田先生パート）
- ・できれば土曜開催（応化会に関わりの無い若手の参加率も上がりそう）

翌日のゴルフはマストでお願いします。その他、昔の慰安旅行的な感じで旅館に泊まるのもありかと思いました。

各社紹介の内容に迷う。ENEOSは比較的会社でやってることを紹介していましたが、もう少し個人的な業務の紹介でもいいのかなと思いました。

フリートークの時間がもう少し欲しかった。新入社員にとっては、最初なじむのが難しく感じるかも。

大分・延岡地区交流会に期待すること、さらなる発展へのアイデア

金銭的な課題はありますが、学生を呼べたらいいよねという話が上がっていました(ただしリクルート感を出すと人事絡めないといけなくなつて逆に負担になりそうなので塩梅が難しい?)

会社も違えば年齢構成も異なる人が集まっているにもかかわらず、和やかかつ率直に意見を交わしあえるのが交流会の良いところかと思いますので、この雰囲気を大切にしつつ輪を広げていければ良いと思いました。

他社の工場見学会ができる貴重な機会でもあるため、無理がない程度に工場見学会は続けられると良いと思いました。会場の使用や工場見学会には会社の許可も必要なため、若手が一蹴されないように各社発言力のある方にサポートいただけたと大変進めやすいと感じました。

他社での皆さんの活躍を教えてもらえることがとても励みになります。3回目ということでは会社紹介よりも各個人の業務取り組みを中心に教えていただけた点がとても参考になったので、今後もこのような形式がいいなと思いました。

ディスカッションの時間を設けていただけたことがとてもよかったです。その時間が足りなくなってしまったことが残念だったので、今後は発表時にもう少しタイムキープ気を付けようと思いました。

東京近郊ですと色々な交流の機会がありますが、地方では機会が限られます。無理をしそうな仲間を増やすイメージでやっていただけたと良いのではと思っています。

参加企業、更には大分・延岡地区への早大生の採用活動に繋がる活動はないでしょうか?

⇒現役学生にもっとPRする方法はないか?

交流会でのグループディスカッションの内容のフィードバックをお願いします。

⇒別途皆さんで集まって議論しましょう。

難しいことは百も承知ですが、参加企業を増やすことは継続的に狙っていきたいですね、、、

熊本や福岡方面含め、同期つながりでもあれば積極的にお声掛け頂きたいです。(応化会からの依頼で、研究室経由でも当たれないですかね)

準備負荷は低く、気楽に参加できる形がいいと思います。

学生の役に立つなら、学生のオンライン参加。

応化委員学生へ九州企業のアピールにつながることを期待したい。

"九州出身応化委員の招待、外部講師など新しい人を入れなければ発展はしていかないような気がする。

現在のような内向きの交流会を継続という視点でも、数年に1回など頻度を下げないと負担、不満のほうが大きくなっていくと思う。"

同業他社の同年代との交流
化学系志望学生との(オンライン)交流会
今回の内容とても楽しかったです。企画運営ありがとうございました。
年代関係なく、OBの交流ができ、また、会社は違っても、同様の意識、対象の仕事に携わっている仲間と意見交換、悩みの相談などができること。
大学の先生にも参加してもらえるのであれば、大学で実施するのもありかと。
小生の立場からは、若手～中堅の早大卒技術者から見た地元大学卒技術者の問題点などを知ることができるとありがたいです。
小生ができることとしては、均質性の高い参加者に対して、外部からの刺激を与えることだと感じました。
会社の垣根や世代を超えた交流
ハードルの低い企画として定期的にコンペを開催していますが、ゴルフをしない人も気軽に参加出来るようなイベントの発掘も是非出来ればと感じます。
色々な世代が集う会の特性を活かし、キャリアデザインに関するお話を先輩から伺ったり、各社での事業取り組みを共有したりする時間があると、また違った一面が垣間見えて面白いと感じます。
会社の垣根を超えた交流・興味深い講演
見学先の確保など、会社を巻き込んで対応するのはハードルが高いため
フリースペースをレンタルしてプログラムを近況報告・講演に絞る案が挙がりました
応化卒の先輩との交流。コミュニティの1つとして継続して参加したい。
社会人になって新しい人との交流が減っているので
開催地によって必ず移動が発生し、そのたびに交通費・旅費がかかるため、参加費(一人2,000円くらい?)を回収し移動がある人の補助としてはどうか。(先生とお偉いさん以外対象で...)